



開学65周年記念式典の様子

開学65周年
特別号

開学65周年記念式典を開催しました

- 林 修 氏 記念講演会
- 各学部・研究科未来プラン公表

- 01 特集
- 07 NCU現場探訪レポート
- 08 TOPICS／国際交流
- 09 学生の活躍
- 10 受賞関連・表彰・叙勲／著書・発行物紹介
- 11 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます。
ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

名古屋
市立大学
開学

65周年 大特集

2015年、名古屋市立大学は開学65周年を迎えました。

開学65周年記念事業メインテーマ

「すこやか・なごやか 未来の創造 — 超少子高齢社会への挑戦 —」

名古屋市立大学は、1950年(昭和25年)に開学し、今年、2015年(平成27年)で開学65周年を迎えました。当初は医学部、薬学部の2学部で発足した本学も、その後社会の要請にこたえる形で成長し、現在では6学部7研究科1センターを有する、学生約4,000名、教職員約1,700名からなる総合大学に発展し、有為な人材を多数輩出するとともに、先進的な研究成果を世界に発信し続けています。本学ではこの開学65周年を記念して、

「すこやか・なごやか 未来の創造—超少子高齢社会への挑戦—」をテーマに開学65周年記念式典を始めとした、記念事業を実施しています。大学憲章で「知の創造の拠点」となることを謳っている本学は、子どもたちが「すこやか」に育ち、高齢者の方々が「なごやか」に暮らせる「未来の創造」に向けて、さらに2020年(平成32年)の開学70周年を見据えて、今後も継続的に事業を展開していきます。



開学65周年宣言の様子



開学65周年記念式典会場

学長挨拶 ～開学65周年記念式典に寄せて～

65年前、わずか2学部でスタートした本学は、現在では、6学部7研究科1センターからなる全国でも有数の総合大学に成長を遂げてまいりました。この間、毎年4,000名余りの逸材を社会に輩出し、先端的な研究成果を世界に発信し、市民の健康増進に中核的役割を担ってまいりました。これも偏に、本学を温か



開学65周年記念式典 学長挨拶の様子

くご支援いただいた市民の方々や、輝かしい伝統を築いてこられた先達のご尽力の賜物と深く感謝いたしております。本学がさらに発展するには、ルーツが異なる7つの研究科が心を一つにして、未来に歩むことが重要であります。その観点から、本学では昨年「大学憲章」を制定し、15年後を見据えた「名市大未来プラン」を策定しました。式典では、それらを踏まえて新たに作成した「学部・研究科未来プラン」を公表しました。開学65周年記念事業は、これらのプランを着実に達成させる手段と考えております。

式典には、想定した約4倍もの参加申込者があり、急遽2会場にしましたが、

約300名の方々にはご参加いただけず大変申し訳なく思っております。多くの参加者を得ましたのは、本学へのご厚情の現れと感謝の気持ちで一杯でございます。

式典では、「開学65周年宣言」として本学が取り組む方針、特に「学部・研究科未来プラン」の中から、研究科間の学際的・横断的なプラン12項目をご紹介しました。これらの実現に向けても地道に努めてまいります。皆さまからの本学への温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学長
部健二郎

開学65周年記念式典レポート

〈開催日〉2015年10月31日(土)

〈場所〉田辺通キャンパス 宮田専治記念ホール・大講義室

名古屋市副市長・名古屋市会議長 ご祝辞

歴史を紐解きますと、1949年10月28日、名古屋市において、本学の源流となる「名古屋市立名古屋薬科大学(1884年の設立時は名古屋薬学校)」と「名古屋市立名古屋女子医科大学(1943年の設立時は名古屋市立女子高等医学専門学校)」を統合し、「名古屋市立大学」を設置する議案が可決され、翌1950年4月の設置に至りました。この10月28日は本学の開学記念日でもあります。

時は流れ、65年の間、名古屋市と共に本学は歩を進めてまいりましたが、この度の記念式典では、本学の母とも呼べる名古屋市・名古屋市会からもご祝辞をいただきました。

新開輝夫名古屋市副市長からは、「学術研究の発展や人材の育成だけでなく、名古屋市との連携強化を推進することで、地域住民への貢献の面でもその存在感を示してほしい」とのお言葉を、また藤沢ただまさ名



新開輝夫名古屋市副市長



藤沢ただまさ名古屋市会議長

古屋市会議長からは、「足場は名古屋市に置きながらも、国際社会で活躍するような人材を育成してほしい」とのお言葉をいただきました。

また、今年1月に行われた名古屋市立大学交流会の総会でご講演いただいた前文部科学副大臣の丹羽秀樹衆議院議員からもご祝文をいただきました。

今後も本学は、教職員一丸となって、地域に貢献し、世界をリードする大学を目指していきます。



開学65周年記念式典 宮田専治記念ホールの様子

林修氏による記念講演会「考える人として生きる」

来賓祝辞・郡学長による開学65周年宣言の後、記念講演会を行いました。

講師は、なんと林修先生です。予備校講師を務める一方で、テレビやラジオで多数の番組にレギュラー出演、CMなどでも大活躍されるなど、マルチな才能を発揮され、ご多忙な毎日をお過ごしの中、本学のためにわざわざお時間を割いてお越しくできました。

講演会には定員を超える多くの申し込みがあったことから、林先生の人気のすごさが伺えます。

巧みな話術で、聴く人を魅了する林先生。「考える人として生きる」と題した講演では、「豊かな体系と豊かな関係を作り上げ

て初めて、超高齢社会において、人々のすこやかな、なごやかな生が実現できる」とお話しいただき、来場者の関心を集めておられました。



サテライト会場の様子



講師プロフィール

名古屋市生まれ、名古屋市在住。東京大学法学部卒。現在、東大特進コースなどの難関大学向けの講義を中心に授業を行い、東進ハイスクール東進衛星予備校の躍進に大貢献している。

■主なレギュラー番組

「林先生が驚く初耳学!」CBCテレビ(TBS系列) 名古屋市政情報番組「ナゴヤでしょ!」中京テレビ など多数

■主な著書

「いつやるか?今でしょ!」宝島社 など

記念シンポジウム 第一部

「すこやか・なごやか 未来の創造 —超少子高齢社会への挑戦—」

林先生の講演の後に行った記念シンポジウムは、二部制で、第一部では「すこやか・なごやか 未来の創造—超少子高齢社会への挑戦—」をテーマとした本学の取り組みについての発表を行いました。



医療に関わる最先端の研究や現場での実践、地域特性など経済学的な視点、本学独自の医療人養成教育や死生学についてなど、多角的な発表がありました。

発表テーマ



「不育症研究について」
杉浦真弓教授 (医学研究科)



「少子化はストップできる？
～市町村地域特性と少子化の動向～」
左より 焼田党教授 (経済学研究科)
山本陽子教授 (経済学研究科)



「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』」
左より 早野順一郎教授 (医学研究科)
川出義浩特任准教授 (薬学研究科)



「生きること、死ぬこと～日本文化からのアプローチ～」
土屋有里子准教授 (人間文化研究科)



記念シンポジウム 第二部

各学部・研究科未来プラン公表



「大学憲章」及び本学の明るい未来をランドデザインする「名市大未来プラン」の着実な実行と全学的な展開を図るため、各学部・研究科における計画を具体化する「学部・研究科未来プラン」が開学65周年記念式典に合わせて策定されました(附属病院は昨年11月に策定・公表済み)。第二部では、各未来プランについて、各学部・研究科長及び附属病院長より概要説明が行われ、

未来プランの目指すものと主な取組みが触れられるとともに、各部署の更なる発展に向けた熱い思いが伝えられました。また、「学部・研究科未来プラン」の特長は、各学部・研究科、附属病院間の学際的・組織横断的な連携・協力の強化が図られていることです。誇りを持ち愛される大学に向け、改めて各部署が思いを一つにした記念すべき日となりました。

各学部・研究科未来プラン

医学部・医学研究科	「人の優しさと未来を育む医学部・医学研究科」
医学部附属病院	「サクラ咲くプラン」
薬学部・薬学研究科	「薬学未来プラン“薬進”」
経済学部・経済学研究科	「名古屋とともに世界を翔ける名市大経済」
人文社会学部・人間文化研究科	「人社の改進」
芸術工学部・芸術工学研究科	「希望と共感のデザイン」
看護学部・看護学研究科	「進化する名市大看護学部・看護学研究科」
システム自然科学研究科	「リーディング・サイエンス・プラン」

開学65周年記念事業

INFORMATION

～名古屋市立大学 事務局からのお知らせ～

▶ シンボルマークの整備・シンボルカラーの制定

開学65周年にあたり、本学が「全ての市民、教職員、学生、同窓生、その家族が誇りに思い、愛情を持てる大学となり、将来に向けてますます発展していく」というユニバーシティアイデンティティの確立に向けたシンボルマークの制定について、大学広報委員会において、検討を進めてまいりました。

本学では、学章、ハートマーク、NCUマークが存在し、それぞれ各時代の学生・教職員に愛されてきました。そして、同委員会では上記目的を踏まえ「現状把握」から「各マークの設立経緯」、「今後の方針」について検討を重ねた結果、新たに制定するのではなく、各年代で愛されてきたこの3つのマークについて、活用の場面を定義して使い分けることとしました。



〈学章〉

学位記など、オフィシャルなもので用いる。



〈NCUマーク〉

広報誌などの印刷物や名刺・名札・封筒など、他校との差別化(ブランディング)を図る場面で用いる。



〈ハートマーク〉

医学部、薬学部由来である本校の伝統を象徴する。それぞれの同窓会を中心に使用する。

シンボルカラーについても、「強い意志、情熱を持って教育・研究に取り組む姿勢、勉学に励む姿勢や不屈の精神を表し、未来に積み重ねていく伝統を意識させる深みのある色」という理由により、現在親しまれているエンジ色をスクールカラーとして定めることとしました。



▶ 開学65周年記念品 絞りふろしき“HIBIKI”を制作

開学65周年を記念して、ふろしきを制作しました。テキスタイルデザインを専門とする芸術工学研究科の藤井尚子准教授によりデザインされた、モダンなイメージのふろしきです。主に本学来賓への記念品として使用します。



芸術工学研究科
藤井 尚子 准教授

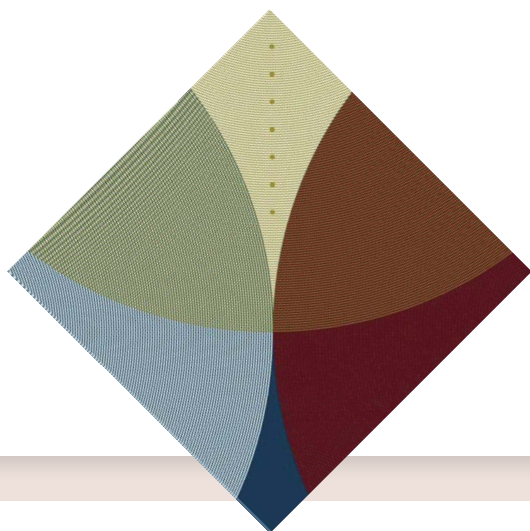


■ 絞りふろしき“HIBIKI”

本学の歴史を円弧の連なりによる「年輪」に見立て、新たな節目を迎え、さらなる発展を表す広がりのあるデザインのふろしきです。

弧線と弧線の重なり合いは、教員と学生の教え・教わる関わりの中での響き、世界をリードする研究拠点としての響き、地域と共鳴・協働しあうことで生まれる響きといった、多様な協奏の豊かな可能性を表しています。

なお、本学7研究科を象徴する七つ星には、名古屋の伝統産業工芸「有松・鳴海絞」が用いられています。



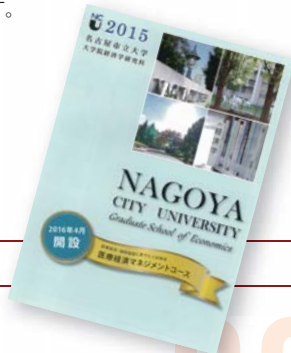
開学65周年記念事業アラカルト

大学院 経済学研究科

日本初!平成28年度より「医療経済マネジメントコース」開設

経済学研究科では、医学研究科および薬学研究科の協力を得て「医療経済マネジメントコース(大学院博士前期課程・社会人特別選抜)」を来年度(2016年度)から開設する運びとなりました。このコースは医療分野の技術進歩をビジネスに結びつけることをねらいとしたものであり、ハードとしての技術を活用するソフトの教育・研究を深めることが期待されます。特に医療技術は専門性が高く、それらを効率的に社会の幸福に結びつけるには、技術的な知識に基づくマネジメントが必要とされます。この

コースでは、医療関係者を対象として経済学・経営学に関連する高度専門的教育を実施して、医療経済や病院経営に明るい人材の育成を目的としています。医学・薬学・経済学の3領域にまたがるコースは日本で初めてであり、社会的影響にも大いに期待しています。



池田由紀准教授による研究中間報告

医学部

医学研究科不育症研究センター

「高校生のためのHands on seminar」を開催

医学研究科不育症研究センターでは、高校生が実験を通して遺伝子分野の研究に興味や関心を深めていただくことを目的として、2015年8月12日(水)に「高校生のためのHands on seminar」を開催しました。当日は、ボランティアの血液からDNAを抽出してアルコールデヒドロゲナーゼ遺伝子多型を調べる実験を行い、高校生の実験に対する真剣な表情を見ることができました。また、終了後に遺伝子を扱う分野に進みたいという話を聞くこともできました。



22世紀研究所講演会

「南極の湖に潜って、原始地球の生態系を追う」を開催

2015年10月3日(土)、田辺通キャンパス宮田専治記念ホールにて、22世紀研究所講演会を開催しました。

国立極地研究所生物圏研究グループの助教 田邊優貴子氏を講師に迎え、南極のさまざまな動植物の生態や湖底に広がる数十億年前の世界などを紹介していただきました。

会場に集まった参加者は、小学生から年配の方まで幅広い層の約130名。南極の美しい写真・映像や田邊氏のリアルな体験談に惹きこまれた方々から、「27億年前の世界を見られてロマンを感じた」など、多くの感動の声をいただきました。



人文社会学部

ESDシンポジウム開催「持続可能な発展とは何かを問直す」

2015年8月22日(土)、本学開学65周年・人文社会学部20周年にあたる本年度の人文社会学部ESDシンポジウムは、日本にお



別所良美教授によるシンポジウムの趣旨説明の様子

けるESD推進の中心的学会の一つである「日本環境教育学会」との共催で開催され、ポスト「ESDの10年」としてのグローバル・アクション・プログラム(GAP)を前進させるために、持続可能な発展とは何かという根本的な問いについて、さくら講堂を満了す約400名の専門研究者や市民とともに考え直す場となりました。2013年度からESD学部をめざしてきた人文社会学部にとって次の発展への重要な契機となりました。



看護学部**名古屋市立大学×名古屋市上下水道局
「快適・健康・お風呂シンポジウム」開催**

04

2015年9月26日(土)、桜山(川澄)キャンパスさくら講堂にて、水にまつわる、より充実したライフスタイルの一助とすることを目的に、名古屋市上下水道局と共同で「快適・健康・お風呂シンポジウム」を開催しました。本看護学部の池田由紀准教授による研究中間報告や東京都市大学人間科学部の早坂信哉教授による基調講演、「お風呂を楽しく・快適に!」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

大学院 システム自然科学研究科**「サイエンスカフェ in 名古屋 100回達成
特別講演会」開催**

06



2006年より実施しておりますサイエンスカフェ in 名古屋は、本年6月に第100回を迎えました。これを記念して、2015年10月10日(土)、桜山(川澄)キャンパスさくら講堂にて、「100回達成特別講演会」を開催し、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構理事の郷通子氏の講演後、本学システム自然科学研究科の谷本英一名誉教授や田上英明准教授、三浦均准教授の講演が行われました。260名あまりの方々の参加があり、盛況のうちに終えることができました。

人文社会学部**「ようこそ先輩@人社」シリーズ最終回を開催**

07

人文社会学部創立20周年事業(つながろう人社!)の一環として開催してきた「ようこそ先輩@人社」の最終回が2015年10月15日(木)に開催されました。今回のテーマ「クリエイティブ人社」に相応しい3人の卒業生(よさこい鳴子踊りチーム【やいろ】代表、白川村役場マーケティングプランナー(地域おこし協力隊)、Webサイト制作・コンサルティング事務所自営)を招き、それぞれの学生時代と卒業後のユニークな活動や仕事についてお話しいただきました。

Coming Soon...**管弦楽団第60回定期演奏会に
向けて練習中!**

2015年12月27日(日)、愛知県芸術劇場コンサートホールにて、本学管弦楽団の第60回定期演奏会が開催されます。今回は開学65周年を記念して、ベートーベン交響曲第9番「歓喜の歌」を演奏します。教職員及び学生など本学関係者を中心に、プロのソリストたちも含め、総勢100人以上で名市大第九合唱団を結成しました。合唱団は7月から毎週、管弦楽団はそれ以上の練習の成果を胸に、本番当日は心をひとつにした、息の合ったハーモニーを奏でます。ぜひご期待ください。

**開学65周年記念作品****長編映画「夢時計」ついにクランクイン!**

芸術工学部栗原映像研究室の学生ら制作による、開学65周年を記念した長編映画「夢時計」が、2015年8月下旬よりついにクランクインしました。

本作品では、オスカープロモーション全国美少女コンテスト入賞者や地元発のアイドルSKE48、劇団あおきりみかんなど地元のプロの俳優に出演いただきます。映画のポスター・チラシのデザイン制作はデザイン・建築などの専攻を同じくする名古屋市立工芸高校と協力し、制作しました。映画サウンドトラックとオリジナルテーマソングは本学管弦楽団にご協力頂き、劇中はすべてオリジナルの生音源で構成されます。3月の公開に向けて、研究室一同一丸となり制作しています。



現場探訪レポート

名古屋市立大学の取り組みを、学部・研究科・事務局それぞれの「現場」の視点からお届けいたします。

芸術工学研究科・芸術工学部

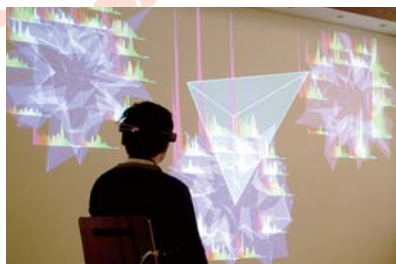
芸術工学部の“今”をご紹介します！

芸術工学部は、今年度、新たに2名の教員を迎えました。そこで、芸術工学部の取り組みを、新任教員のご挨拶を含め一部ご紹介いたします。

■新研究室のご紹介

情報環境デザイン領域 准教授 中川 隆

メディア表現に関する講義を担当し、ヘッドマウントディスプレイや簡易脳波計を用いた芸術表現の研究を行っています。最近では、4月に音楽と脳波との関係性を探る研究グループの一員として六本木アートナイトに参加し、観客が簡易脳波計を着用して参加できる体験型作品を発表しました。



体験型展示作品の展示風景(六本木アートナイト2015)

産業イノベーションデザイン領域 教授 松本 貴裕

光並びに電子工学関連分野で教鞭を取っています。本学科・研究科では、その名が示すとおりデザイナー志向の学生が多く学んでいます。卒業後に、より高い知識と技術力を持ったデザイナーとなるように“感性”“技術”そして“創造する喜び”を体得できる教育・研究を実践していければと思っています。



芸術工学部開催卓展2015にて

■地域での取り組み

建築都市領域 准教授 原田 昌幸

市営交通では、外国人利用者の増加や東京オリンピック、リニア中央新幹線の開業を見据えて、誰にでも分かりやすい案内サインへの移行を目指しています。原田研究室では、現場の声を集めるためのアンケート調査や、路線図式料金表の課題点抽出のための現地調査の計画に協力しています。これらの取り組みを通じて名古屋の街の魅力向上に寄与できたらと考えています。

看護学部・看護学研究科

ハルリム大学・セントラルクィーンズランド大学と交流しています！

看護学部は、2011年より韓国ハルリム大学医学部看護学科と交流を積極的に行っています。教員間の交流のみならず、学生の派遣、受け入れを隔年で行っています。今年は4名のハルリム大学看護学科生を本学部を受け入れました。学部生対象の講義内で韓国の高齢化や少子化の進展について英語でプレゼンテーションを実施したり、なごやか暮らしの保健室訪問、附属病院見学、本学学生との交流など充実した1週間を過ごしました。

また、看護学部はオーストラリアセントラル・クィーンズランド大学

(CQU)とも交流をしており、今年の7月には学生6名、教員2名を受け入れ、演習への参加、附属病院での実習、保健所での乳幼児健診の見学等を行い、日本の看護事情について学びました。日濠での看護教育の違い、看護師の役割の違い、文化の違いなどを実体験してもらいました。本学学部生も海外の学生と演習を受ける機会はなかなか大いに刺激になったようです。

さらに、今年から国際交流、留学に関心がある看護学部学生によるサークルAGHも立ち上がりました。今後の活動が楽しみです。



ハルリム大学学生の受け入れ(2015年6月)



CQU学生の受け入れ(2015年7月)

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

教員の研究をサポート「URAオフィス」始動!

2015年度より研究力強化のため、新たにURAオフィス(桜山(川澄)キャンパス本部棟2階)を設立しました。URAオフィスには、学内外との研究の橋渡し役となるリサーチ・アドミニストレーター(University Research Administrator)を特任教員として2名配置し、研究情報の調査・分析、研究戦略企画の原案策定、大型研究費の獲得支援等、さまざまな研究支援を行います。宜しくお願いします。

[写真] オフィス長 今泉 祐治 理事(右奥)、副オフィス長 林 秀敏 学長補佐(左奥)、シニアURA 服部 浩二 特任教員(右前)、URA 奥津 佐恵子 特任助教(左前)



DATE 10.1

平成27年度 秋季入学式を行いました

2015年10月1日(木)、医学研究科11名、薬学研究科2名の入学生を迎え、秋季入学式を行いました。秋季入学(10月入学)は平成26年度より薬学研究科で募集を開始し、今年度から医学研究科でも始まりました。



DATE 10.30

「名工大テクノフェア2015」にて 共同セッションを初開催!

2015年10月30日(金)、名古屋工業大学鶴舞キャンパスにて開催された「名工大テクノフェア2015」に連携機関として参画しました。

薬学研究科からは、井上靖道准教授、豊玉彰子講師が最新の研究成果について発表を行ったほか、共同大学院を中心とした研究室紹介のポスター展示を行いました。また、医学研究科からは、教員、放射線技師、及び研究支援を行うリサーチ・アドミニストレーター(URA)の計11名が参加し、名工大の教員と直接対話する「共同セッション」を初開催。セッションでは活発な意見交換がなされ、これを機会に両大学による医工連携を一層推進し、研究力向上を目指します。



DATE 10.8

「中部公立3大学 新技術説明会」開催!

2015年10月8日(木)、JST東京本部別館ホール(東京都千代田区)にて「中部公立3大学 新技術説明会」を開催しました。8回目の開催となる今回は、創薬、医療・福祉に関連した計6件の新技術が紹介され、本学からは、医学研究科 酒々井眞澄教授(分子毒性学分野)と薬学研究科 矢木宏和講師(生命分子構造学分野)の2名の教員が発表を行いました。当日は多数の企業関係者の方にお越しいただき、発表後には個別に質問を受けるなど、新たな産学連携に向けた良い機会となりました。



口頭発表の様子

高校生対象「研究室訪問」・「授業公開」を開催!



高校生対象の「研究室訪問(2015年7月23日(木)~8月25日(火))」と「授業公開(2015年10月12日(月))」が実施されました。研究室訪問は、医学、薬学、システム自然科学の各研究科の実験室や設備を利用して行われました。高校生29名の参加があり、彼らの学習意欲や大学進学など将来に対するモチベーションをあげるための有意義な時間となりました。また授業公開は、本学の授業を体験してもらう機会として開催され、高校生22名が、経済学部や人文社会学部の専門教育科目を受講しました。

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

セント・トーマス大学から短期インターンシップ生が来日

フィリピン

セント・トーマス大学

薬学部・システム自然科学研究科

2015年6月22日(月)より6週間、フィリピンの協定校セント・トーマス大学応用物理学部より1名の短期インターンシップ生を受け入れ、薬学部及びシステム自然科学研究科で短期研修を実施しました。薬学部で物理系分野や衛生化学・薬物送達学等の各分野でそれぞれインターンシップを行うほか、システム自然科学研究科でも5日間の研修を行いました。また、勉学以外にも本学の学生と交流する機会や茶道など日本文化体験を行う様子も見られました。



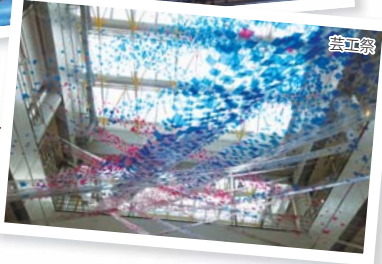
平成27年度 外国人客員研究員等の招へい

(2015年11月末まで)

氏名	Armelle Faure (アルメル・フォール)
国籍	フランス
現職	ジョン・ホプキンス大学高等国際関係大学院(SAIS) 客員研究員
招へい期間	2015年10月21日~11月9日(20日間)
研究課題	巨大インフラ事業と人びとの生活への影響について
申請者	人間文化研究科 准教授 佐野 直子

氏名	張 汝秀(チョウ・ジョシュウ)
国籍	台湾
現職	文藻外語大学 助教授
招へい期間	2015年11月2日~11月29日(28日間)
研究課題	日本と台湾の教育課程の比較研究
申請者	人間文化研究科 教授 山田 美香

学生の活躍



今年も4キャンパスで大学祭 NCU FES.2015を開催

2015年10月から11月にかけて、本学4キャンパスで大学祭NCU FES.2015が開催され、大勢の来場者でにぎわいました。今年も、開学65周年記念イベントとして、4キャンパス初の合同企画「シールラリー」を実施しました。学生がデザインしたNCU FES.2015オリジナルのクリアファイルに、各学祭のシールを集めると景品がもらえる企画です。いくつも



4キャンパス初の合同企画「シールラリー」のオリジナルクリアファイル

学生がデザイン!

の学祭を体験してほしいという大学祭実行委員の思いから企画され、多くの来場者にご参加いただきました。夏休み前から、日々準備してきた結晶の証として、各学祭においてそれぞれ個性あふれる大学祭を実施することができました。今回の4キャンパス合同企画をきっかけに、今後も学部の垣根をこえた活動にご期待ください。

(写真:写真部・芸工祭実行委員提供)

薬学生企画! 3.11から学ぶ「被災地×薬剤師」 「災害時の薬剤師活動を考える」シンポジウムを開催

本学の医療系学生サークル「はまけら」30名が、東日本大震災の被災地を訪問し、そこで感じた「これからの薬剤師の在り方」を、自分達だけでなく多くの方々と共有しようと、2015年10月25日(日)、薬学部の学生が中心となって公開シンポジウムを開催しました。被災地の薬剤師、名古屋の災害対応を専門と

する医師の方を講師にお招きして、「災害時に「薬剤師に何ができるか」「何を心がけなければいけないか」をお話いただきました。薬学祭当日に開催し、薬学生や現場で活躍する薬剤師だけでなく、医療関係者、医療職を目指す高校生、市民の皆さんと一緒に災害時の医療について考えるよい機会となりました。



学生の受賞

医学研究科 神経化学教育口演優秀発表賞を受賞

第58回日本神経化学会大会の神経化学教育口演において、医学研究科修士課程2年の荻野崇さんが発表し、優秀発表賞を受賞しました。二光子励起顕微鏡を用いて生きたマウス脳内の血流とニューロン再生を同時に観察し、血流の多い場所で再生が起こりやすいことを明らかにしました。研究の重要性に加えて、英語によるプレゼンテーションと討論の内容などが高く評価されました。今後、益々のご活躍を期待しています。

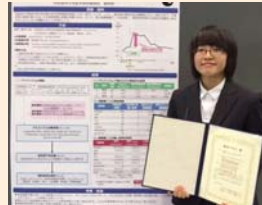


〈受賞者〉写真左 医学研究科修士課程2年 荻野崇さん

薬学部

医療薬学フォーラム2015にて第23回クリニカルファーマシーシンポジウム優秀ポスター賞を受賞

2015年7月、医療薬学フォーラム2015において、薬学部5年の山下彩花さんが優秀ポスター賞を受賞しました。「医療情報データベースを活用した副作用としての急性腎不全の検出に関する研究」という演題で、薬剤性副作用症例を客観的に検出するアルゴリズムを構築することを目的としたものです。研究の結果、作成したアルゴリズムによって疑い患者を検出することに成功し、高く評価されました。



〈受賞者〉薬学部5年 山下彩花さん

経済学部

「全国学生対抗円ダービー」で上位入賞 & ユニーク賞受賞



〈受賞者〉経済学部3年 写真左から 河合彩加さん、井澤龍之介さん、井上朝実さん、住吉有希さん、伊藤有美さん、竹村史弥さん、佐藤望さん

中学生以上がチームで円相場の予想を競う「第15回全国学生対抗円ダービー」が開催され、2015年8月29日(土)に最終順位が発表されました。経済学部の稲垣ゼミ7名がチームで参加し、364チーム中25位と上位入賞を果たしました。

また、相場の予想方法に独自の工夫がみられたと高く評価され、「ユニーク賞」も受賞し、主催の日本経済新聞社から賞状と記念品が贈られました。

上位入賞とユニーク賞受賞の情報は、それぞれ2015年8月29日(土)、9月5日(土)の日本経済新聞紙面および電子版にも掲載されています。

芸術工学部

第2回 学生・若手実務者のための構造デザインコンペティション 優秀賞を受賞

第2回学生・若手実務者のための構造デザインコンペティションにおいて、芸術工学部の学生6名が優秀賞を受賞しました。発表した、海岸沿いに設置する遊歩道「羽衣の遊歩道」は、購入した水槽等で実験を繰り返し、多くの方々に意見を求めながら2ヶ月程度で完成した作品です。東京最終選考のプレゼンテーションでは、現地を視察した際の話をお聞きしながら場を和ませました。国内外からのエントリー116件の中、優秀賞を受賞し、得難い経験と共に大きな糧となりました。



プレゼンテーションの様子

〈受賞者〉芸術工学部3年 三谷昌史さん、江原夏季さん、熊谷悠紀さん、桑幡祐美子さん、中島英輝さん、林秀明さん

芸術工学部

第1回 RESIDIAリノベーションデザイン賃貸住環境学生コンペ優秀賞受賞

第1回RESIDIAリノベーションデザイン賃貸住環境学生コンペにおいて、芸術工学部の学生3名が優秀賞を受賞しました。コンペでは、東京に実際に建つ賃貸マンションの一住戸を対象としたリノベーションデザインと事業計画の提案が求められ、実習の一環として挑戦し、いくつもの模型を作りながら提案の検討を行いました。家具を作り込んだ模型(作品名:「マド」との暮らし)を使ったプレゼンがプロの建築家である審査員に高く評価されました。



〈受賞者〉芸術工学部4年 左奥から 築地一哉さん、坂田佳隆さん、山田大暉さん

PRIZE 受賞

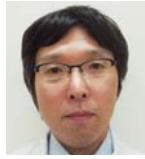
※受賞期間：2015年8月1日～10月31日 ※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に掲載

■医学研究科



日本尿路結石症学会
第10回学会賞

腎・泌尿器科学分野
研究員 田口 和己



欧州研究皮膚科学会
第45回 欧州研究皮膚科学会
ポスター賞

加齢・環境皮膚科学分野
臨床研究医 久保 良二

■経済学研究科



2015年度
日本協同組合学会学術賞
著書：未来を拓く協同の社会システム

名誉教授 向井 清史

■人間文化研究科



日本知能情報ファジィ学会
著述賞

著書：不確実状況下における多目的計画
問題に対する意思決定手法

教授 矢野 均

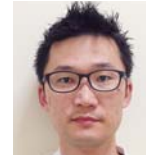
■システム自然科学研究科



日本結晶成長学会
第13回奨励賞

准教授 三浦 均

■医学部附属病院



第269回 日本泌尿器科学会
東海地方会 優秀発表賞

腎・泌尿器科学分野
病院助教 濱川 隆

平成27年 永年勤続職員表彰

※五十音順に掲載

勤続表彰おめでとうございます。ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰

- | | |
|----------------|-------------|
| 小川 秀子 看護師 | 鈴木 かをり 看護師 |
| 笠井 治昌 係長 | 田 春子 助手 |
| 加藤 直美 看護師長 | 林 祐太郎 病院教授 |
| 川村 富士夫 診療放射線技師 | 藤原 かをる 看護師長 |
| 小林 和子 助産師 | 水野 仁美 主査 |
| 鈴木 和子 看護師 | |



■20年勤続表彰

- | | |
|------------|-----------|
| 井坂 雅徳 学内講師 | 木下 英里 看護師 |
| 伊藤 有里 看護師 | 來海 千恵 看護師 |
| 上野 徹 主事 | 近藤 勝弘 主査 |
| 榎本 涼子 司書 | 滝村 雅人 教授 |
| 小川 綾花 看護師長 | 中尾 敦子 看護師 |
| 小鹿 真奈美 助産師 | 前田 康博 講師 |
| 河合 篤男 教授 | 吉田 佳代 看護師 |



平成27年 学長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

- 榎原 毅 講師(医学研究科)
- 城村 由和 助教(医学研究科)
- 豊玉 彰子 講師(薬学研究科)
- 坂和 秀晃 准教授(経済学研究科)
- 上田 敏文 准教授(人間文化研究科)
- 張 景耀 准教授(芸術工学研究科)
- 矢野 久子 教授(看護学部)
- 奥津 光晴 講師(システム自然科学研究科)



平成27年 秋の叙勲

瑞宝双光章 にご受章おめでとうございます。

受章者：川野 誠(元名古屋市立大学病院中央放射線部技師長)



最近発行された教員の著書・発行物等を紹介いたします。

●教職員の皆様へ…本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。



「ポスト福祉国家の
サードセクター論
～市民的公共圏の担い手としての
可能性～」

経済学研究科 名誉教授
向井 清史

2015年9月
出版：ミネルヴァ書房

BOOK
01



「エピジェネティクス革命
～世代を超える遺伝子の記憶～」

システム自然科学研究科
教授
中山 潤一(翻訳)

2015年7月
出版：丸善出版

BOOK
02

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

開学65周年記念イベント

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
12.5 SAT 2015	人間文化研究所10周年シンポジウム 講演者:名古屋ポストン美術館館長 馬場 駿吉 氏 パネリスト:人間文化研究科教授 阪井 芳貴 人間文化研究科 准教授 久保田 健市 人間文化研究科 名誉教授 山田 明・土屋 勝彦 司会:人間文化研究科 教授 吉田 一彦	14:00~17:30 滝山(山の畑)キャンパス1号館 201教室 費用:無料 定員:先着200名	申込不要
12.11 FRI	なごや看護生涯学習公開講演会 「地域包括ケアシステムの構築」 ～医療看護介護福祉の連携から地域づくりへ～ 講師:高橋 紘士 氏(一般財団法人高齢者住宅財団理事長)	18:00~19:30 桜山(川澄)キャンパス さくら講堂 費用:500円 定員:先着400名	インターネット(名古屋市電子申請サービス) またはFAXのいずれかの方法でお申し込みください。 看護実践研究センターホームページ http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/ FAX:052-853-8042
12.27 SUN	管弦楽団第60回定期演奏会 「交響曲第9番ニ短調作品125 (L.v.ベートーヴェン)」ほか 教職員及び学生など本学関係者を中心とした 名古屋市第九合唱団参加	開場16:45 開演17:30~閉演19:30 愛知県芸術劇場 コンサートホール 費用:1,000円(チケット代) 詳しくは、URL: http://meishidaioke.web.fc2.com をご覧ください。	
2.6 SAT 2016	名古屋市立大学交流会 平成27年度 総会・講演会・懇親会 講演者:作家・博物学者 荒俣 宏 氏 対象:交流会員、同窓生、現・旧教職員、学生など本学関係者	総会・講演会15:00~ 懇親会17:00~ 名古屋マリオットアソシアホテル 費用:9,000円(懇親会費) ※学生(本人)および平成26年度 卒業生は無料	交流会HP、メール、またはFAXにてお申し込みください。 http://www.koryukai.jp Email:koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp FAX:052-841-6201 申込締切日時:2016年1月15日(金)
2.23 TUE - 28 SUN	芸術工学部 卒業・修了制作展	9:30~19:00 名古屋市市民ギャラリー栄 費用:無料	申込不要
3.18 FRI	開学65周年記念作品 長編映画「儂時計」上映	19:00~ ミッドランドスクエアシネマ 費用:無料(但し、希望者多数の 場合、抽選となる場合あり) 定員:約300名	乗原映像研究室のウェブサイト http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/ykurihar/ にて、順次発表予定

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
12.18 FRI 2015	第105回 「自分と他人をどう区別する? ～行動的特徴に基づく生体認証～」 講師:システム自然科学研究科 准教授 渡邊 裕司	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th café(セブンスカフェ) 費用:600円(飲み物+お菓子) 定員:先着30名	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)をご記入の上、 お申し込みください。 メール: scicafecafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の翌週から、次回開催分の受付を開始いたします。
1.15 FRI 2016	第106回 「ゲノムの話:98%はガラクたなのか?」 講師:システム自然科学研究科 教授 中山 潤一		

Human&Social サイエンスカフェ

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
12.19 SAT 2015	第73回 シリーズ「欧米」を考える(4) 「軍事超大国アメリカの深層を読むー制度・記憶・犠牲ー」 講師:人間文化研究科 准教授 平田 雅己	15:00~17:00 桜山(川澄)キャンパス 西棟1階 サクラサイドテラス 費用:1,000円 (スイーツ盛合せ+飲み物)	お名前・ご連絡先・参加希望講座名を記入の上、 お申し込みください。 メール: institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-3536 TEL-FAX:052-872-3536 ※開催月の1か月前の第1月曜日(月曜日が休日の場合は その翌日)より申込開始。
2.20 SAT 2016	第74回 シリーズ「欧米」を考える(5) 「パチカンの歴史といまー教皇フランシスコの挑戦ー」 講師:人間文化研究科 教授 松本 佐保		

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。
大学振興基金へのご寄附は、教育研究等の振興を
図るために使用させていただきます。
なお、開学65周年記念事業に対する寄附顕彰に
ついては、別紙をご覧ください。

■個人

100,000円以上 布施 博政 様
50,000円以上 布目 鐘 様
10,000円以上 岡本 政孝 様、山形 幸彦 様
非公表 小島 教彰 様、下窪 愛子 様、田多 麻紀子 様、
多和田 兼章 様、寺田 明彦 様、山下 洋司 様

■法人・団体

3,000,000円以上
日本税理士会連合会 会長
神津 信一 様
500,000円以上
株式会社井上デンキ工事 様

※五十音順。2015年7月1日から9月30日までにご寄附いただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された
日が上記期間に該当する方。

ご意見・情報 募集中!

<本学教職員の皆さまへ>

広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。
また、広報に関する報告・相談には、教職員限定サイト「広報ホットライン」をご活用ください。

ご協力ください

敷地内・周辺道路は禁煙です。

